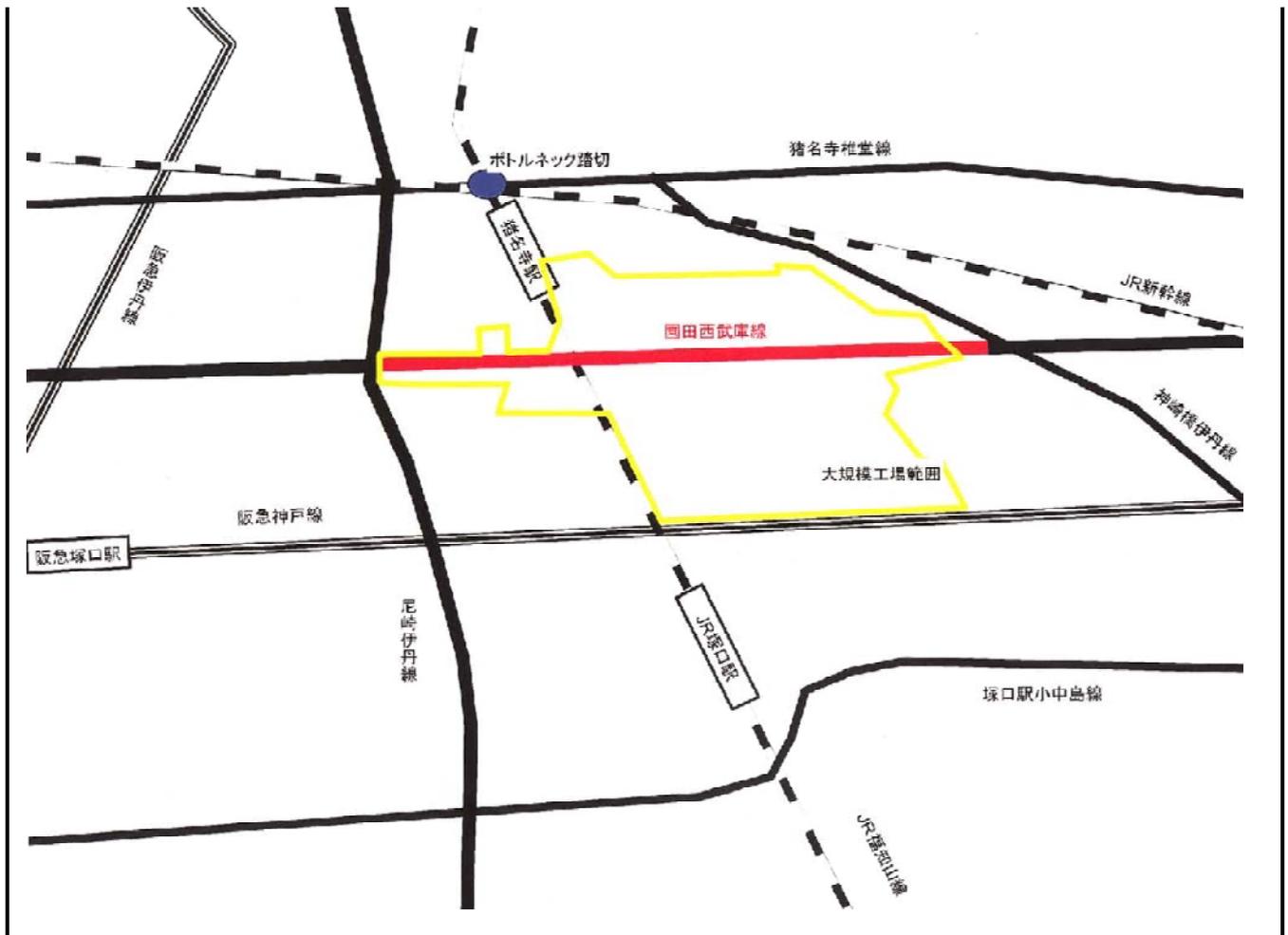


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名 そのだにしむこせん 園田西武庫線	事業区分 街路	事業主体 兵庫県
起終点 自：兵庫県尼崎市御園1丁目 至：兵庫県尼崎市塚口本町6丁目		延長 0.9 km
事業概要 ：本事業は、国道2号、国道43号等の東西主要幹線道路を補完し、大阪府と接続する尼崎市北部市街地における東西幹線道路である。JR福知山線との立体交差を含む本事業の施行により、都市内交通の円滑化と都市機能の充実を図ることができる。		
H9年度事業化	H9年度都市計画決定	H9年度用地着手
全体事業費	174億円	事業進捗率
計画交通量	11200台/日	供用済延長
		5%
		- km
費用便益分析結果	B/C ： (事業全体) 5.3 (残事業) -	総費用 ： (残事業)/(事業全体) - / 167億円 (事業費)： - / 166億円 (維持管理費)： - / 0.98億円
		総便益 ： (残事業)/(事業全体) - / 890億円 (走行時間短縮便益)： - / 778億円 (走行費用減少便益)： - / 97億円 (交通事故減少便益)： - / 15億円
		基準年 ： 平成18年
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（踏切遮断交通量91,016台時/日の踏切の代替路線） ・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消） ・歩行者・自転車のための生活空間の形成（歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上） 他11項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 地域住民からも早期の完成を望む声が多く、平成16年3月には地元社会福祉連絡協議会からも早期の整備についての要望書が提出されている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺の道路では随所で慢性的な渋滞を起こしており、またJR福知山線及びその沿道に立地する大規模工場群による地域分断状況も変化していない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 本工区と藻川工区を除けば、武庫川以東は区画整理等で整備済みである。当該区間の約93%を占める大規模工場の補償を早期に行いJR福知山線の立体交差を含む本工事に着手する。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 当該区間の約93%を占める大規模工場の補償費について月1～2回の頻度で交渉を行っているが、工場の再配置計画の見直し、事業費の再精査等に相当の時間を要したため、当初設定工期より遅延しているが、大規模工場側と早期の補償契約を行い、平成25年度事業完了を行うべく事業を進める。		
施設の構造や工法の変更等 大規模工場と工場の再配置計画の再検討を行い、工場側の協力を得て補償費の削減できる移転計画に合意している。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 尼崎市北部における東西幹線として、都市間における交通の円滑化と都市機能の充実を図り、周辺道路の交通渋滞の解消を図るものであり、また、本事業により、工場群による地域の分断を解消しまちづくりを進める上でも必要な路線の整備であり、早期完成が地域にとって最重要である。		
事業概要図 ：（次ページへ）		



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。